

7ブロック：バーモントカップ予選会ルール説明

- 試合時間 予選、決勝トーナメント:10-5-10 のランニングタイム
タイムキーパーは置きません。前後半ともタイムアウト無し。
ハーフタイムでベンチ交代
- ベンチ入り人数 選手は第7ブロック大会までは4種サッカー登録を行った選手はすべてベンチ入りできる。
フットサル登録は不要。サッカーの4種登録の選手証を提示下さい。
スタッフは2名以上3名まで。
交代要員はピブス等用意する。スタッフは選手と違う服装で。
- 順位決定 (1)勝ち点
(2)得失点差
(3)総得点
(4)当該チームの勝敗
(5)コイントス
※勝ち点:勝=3 引分け=1 負=0
- ルール注意点 キックオフから直接ゴールを狙ってはいけない。→相手のゴールクリアランスから再開する
4秒ルール:相手側のキックインあるいは間接フリーキックで再開
キックイン・ゴールクリアランス・コーナーキック・フリーキック
GKのプレー
ただし、GKが相手側コートにてプレーする場合は適用されない。
GKから出たボールは全て、直接ハーフウェイラインを越えてはいけない
ゴールクリアランスおよびインプレー中でも同じ扱い。
ハーフウェイライン上から相手側の間接フリーキック
GKへのバックパス禁止
GKから出たボールは(ゴールクリアランスおよびインプレー中でも)相手選手に触れなければゴールキーパーに返すことはできない。ゴールキーパーが触れた場合、その地点から相手側に間接フリーキックが与えられる。
ただしその地点がペナルティーエリア内の場合は、GKが触れた所に最も近いペナルティーエリアライン上から間接フリーキックを行う
ファールの累積はしない
第2ペナルティーマークは無し
Yカード2枚で退場となり、次の試合出場禁止。
Rカードで退場となり、次の試合出場禁止。
- ピッチ・ボール等 ピッチは、中央大会は32m×16mだが、第7ブロックは、試合会場にあわせる。
センターサークル半径2.5m ペナルティマーク5m
交代ゾーン 5m フリーキック・キックイン・コーナーキックも5mはなれる。
ボールは、フットサル用の3号ボールを使用する。
- 上記以外は、フットサル競技規則に準じます。
- 当日会場にて、補足説明を予定しています。
第一試合開始前に、当日の各チーム責任者及び帯同審判の方は出席してください。
- ★ 予選リーグ・決勝トーナメント1回戦まで、各チーム、フットサルを理解されている

2019 第7フロックバーモントカップ フットサル大会

フロック大会要項

① 主催

公益財団 東京都サッカー協会

② 主管

全日本少年フットサル大会東京都大会実施委員会

③ 開催期間

フロック大会2019年5月1日(水・祝)～5月3日(金・祝)※予備日5月12日(日)
[中央大会:2019年6月4日(土)・6月16日(日)]

④ 試合会場

明星小学校G

⑤ 参加資格

- I. 参加チームは実施年度の公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本協会」)第4種に加盟(準加盟含む)登録したチームであること。(フットサル登録は不要)
- II. 参加チームの構成は単一チームに限られ、その加盟チームは年間を通して活動していること。
- III. 6年生が10人以上登録し、6年生主体で参加できるチーム。(1チームに6年生が5人以上いること。)
- IV. 会場運営など、リーグ運営に協力できるチームであること。
- V. 引率指導者は参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
また、内1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上・フロック指導者講習受講者・キッズ指導者資格者)を有する事。
そのチームの第1試合30分前までの登録用紙・選手証とともに指導者資格証も本部に提出する。

⑥ 試合方法

- I. トーナメント戦
- II. 試合時間は予選、決勝トーナメント共に10-5-10のランニングタイム。
- III. フィールドは32m×16mを基準とする。(第7フロック各会場条件により合わせる)

⑦ 選手登録

- I. 大会参加選手は所定のメンバー用紙に登録をすること。
- II. 登録用紙に記載の無い選手はメンバー登録は出来ない。
- III. 選手証を所持していない選手は登録出来ない。但し、申請中を証明できる者で役員の承認がある者は認める。
- IV. そのチームの第1試合開始30分前までに顔写真貼付けの選手証(原本)と登録用紙を会場本部に提出し内容確認を行う。
従来のカード型選手証の代わりに、電子選手証一覧を出力したもの(顔写真貼付け必須)の使用も可能とする。
- V. メンバー登録された選手は試合開始10分前までに用具とともに登録用紙の確認を受ける事とする。
- VI. 必ず傷害保険(スポーツ安全保険)に加入していること。

⑧ 選手の移籍と入れ替え

- I. 大会の期間中であっても、いつでも行う事は出来る。
移籍がフロック大会終了以前までに完了していれば東京都中央大会に参加することが出来る。
 - II. 移籍に関しては、移籍元および移籍先チーム代表者はフロック委員長へ報告すること。
 - III. 移籍に関する確認及び協議期間中は移籍先で試合に参加することはできない。
 - IV. 国内や海外からの転移による移籍や登録も、大会期間中でも参加することが出来る。
(少年サッカー連盟役員会の確認が必要)
- ※移籍に関しては2017年度の少年連盟規定が大きく変更されました。
ケースによっては少年サッカー連盟役員会での協議・承認が必要となりますので、必ず移籍元および移籍先のチーム代表者はフロック委員長へ報告をしてください。

⑨ 成績

- I. 成績上位〇チームが東京都中央大会出場資格を得る。

2019 第7ブロックバーモントカップ フットサル大会

1. 競技規則

当該年度日本協会制定のフットサル競技規則に準ずる。
日本協会などが行う15歳以下のフットサル競技会における規則を適用する。
ただし、選抜大会等項および各大会で定められた「大会等項規則」が優先する。

2. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

I. 競技のフィールド

- ①フィールドの長さ(タッチライン)は32m、幅(ゴールライン)は16mを基本とし(第7ブロック各会場条件により合わせる)。
- ②ペナルティエリア等…ペナルティエリア四分円の半径:5m、ペナルティマーク:5m、交代ゾーン4m
- ③戦術指示はその都度ベンチのただ1名の指導者が伝えることができる。

II. ボール

フットサル用3号球、フィールドの状態により適正な空気圧とする。

III. 競技者の数

- ①5人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。
- *一方のチームが3人に満たない場合は試合を開始し不得、試合中の負傷者・退場者は即時補充する。
- *試合進行中および終了時、フィールド上に3人未満の場合は、試合は不成立となる。
- ひか、主審の許可を得て、用具を正すまたは負傷者の処置で一時的に3人未満の場合はその限りではない。
- 本項は、早期復帰することが条件となる。復帰の見通しがたない場合は主審の判断で競技を継続させる。
- *試合開始時から試合終了時まで、2人以上3人以内のチーム役員(登録用紙に記載された役員)がベンチにいなければならない。(内1名は指導者資格保持者でなければならない)
- 例外として、次試合の審判対応準備を行うための遠征により、1名とすることは認められる。
- ②試合に出場出来る競技者は試合当日のメンバー表登録者で、人数に制限は設けず。
- ③フィールドプレーヤーは交代ゾーンからいつでも自由な交代が出来るが、ゴールキーパーの交代は主審に通知し、試合の停止中に行う。交代要員はユニフォームと異なる色(ヒズ等)を着用する。

IV. 競技者の用具(ユニフォーム)

- ①実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- ②選手番号は規定(背面:縦25cm-35cm、前面:縦10cm-15cm)サイズを適宜縮小することができる。
- ③番号表示はシャツの背面及び前面とする。シャツには表示を推奨する。
- ④ユニフォームのメーカーロゴの無い、スポンサーのライン等には表示しない。
- ⑤当日の対戦相手とユニフォームの色を識別する用具(フェイク)を持っていくこと。
- ⑥ゴールキーパーの予備せしめ事項でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、試合で使用しないが正真正正に自分の安全なカラーで本人の番号であれば着用可能。
- それが無い場合は番号無しで安全なカラーを着用する。
- ⑦必ずフィールドプレーヤーと異なるゴールキーパーのシャツおよびソックスは、試合開始前からフィールドプレーヤーと同じ色彩で良い。ただし、シャツは他の競技者と区別できる色彩とする。また、選手番号は固有の番号とする。
- ⑧登録外の選手がベンチ入り(応援のため)する場合、登録選手および交代要員とは区別できる服装にすること。
- ⑨ユニフォームの選手番号は、選手ごとに固有の番号とし、試合毎に変更することができる。

V. 審判

試合は主審1人、第2審判1人で運営される。(第3審判、タイムキーパーは第7ブロック大会では無しとする。)
審判員の着用を必須とする。
担当試合の終了後、速やかにコート本部に結果報告、提出すること。

VI. 試合時間

予選リーグ 10-5-10のランニングタイム
決勝トーナメント 10-5-10のランニングタイム

3. 警告・懲罰および再試合など

- I. 期間中に累積警告を2回受けた選手は、次の1試合は出場停止とする。
ブロック大会での警告・退場・退席の処分は中央大会には持ち越しなし。
- II. 試合において退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については少年サッカー連盟規程フェアプレー委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- III. 試合が一方または両方のチームの責任なき事由(天災・悪天候・高気温・施設割れまたは大会運営事由など)により開催不能または継続できなかった場合は原則「再試合」とする。
→ 再試合の日時・試合会場・審判員・選手登録などは新たに規定することができる。
※大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が不可の場合は次に依る。
※開催不能の場合または中止の場合「ブロック委員会へ状況を速やかに報告するものとする。」
ブロック委員会主導にて役員にて協議し、その後の処置を決定する。
- IV. 試合が一方または両方のチームの責任における事由(選手欠不齊、人数不足、暴力行為、試合拒否など)により開催不能または中止となった場合は以下の対応とする。
A. 一方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
・放棄試合として、不戦敗(0-5)扱いとする。
B. 両方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
・無効試合として、原則「再試合」とする。ただし、大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が無しと判断される場合は次に進むチームをチーム代表者のくしにより決定する。
上記のようなケースが発生した場合、事由内容によっては懲罰が与えられることがある。
重大事由の場合、廃止試合として当該チームの全記録を抹消することもある。
- V. 試合会場本部で判断ができずいし事件が発生した場合は、速やかにブロック委員長に確認を取ること。
万一、ブロック委員長に連絡が取れない場合は、予定通り試合を行うがブロック委員長預かりとする。
- VI. 本協会主催および本記載事項にない事例に關しては、規程フェアプレー委員会にて決定する。

5. 熱中症対策

- 日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」に従った対応を各会場で行う事を必須とする。
- *WBGT=31 (人工芝は28)以上となる時刻に、試合を始める。(キックオフ時間を規定しない。)
- *WBGT=28 (人工芝は25)以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は両ベンチ・補助審判部分に日影を作り、水やスポーツドリンク、塩分補水等を用意し、試合にはCooling Breakを設ける。
- *WBGT=25 (人工芝は22)以上の場合は飲水タイムを行う(Cooling Breakを行っても良い)
- やむを得ず行う場合は「JFA熱中症対策(A+B)」を併した上でCooling Breakを必ず行う。
- *中止や延期の判断は試合開始前もしくはハーフタイム時に限る。プレー中の対応・変更はしない。
- *中止や延期の判断は試合開始前もしくはハーフタイム時に限る。プレー中の対応・変更はしない。
- *中止した試合はグリーンフラグ担当者役員が協議の上で代替え日を定める。前半で終了した試合の代替え日は後半から行う。
- *各グリーンフラグは試合の日に当日の「本報」の役割を担うものを複数選定する。
- *運営担当者必ず「緑式」WBGT計測器を持参する。WBGT測定器がその会場に既に設置される場合はそれを利用する事も出来る。(事前に担当者に確認が必要)
- *計測は必ず2.0m上で計測器の風車が日影に落ちないよう、選手の身長(2.3m)の高さに設置(吊下げか三脚に固定)する。(150cm平均と仮定した場合約100cmの高さ…コーン・フラグの下に引掛けるなど約1mになる…目安)
- *全ての試合のキックオフ直前とハーフタイム時に計測を行い、運営担当者は結果報告書の指定の欄にキックオフ時とハーフタイム時それぞれWBGT取扱を記載する。
- *主審はWBGT取扱に付した場合は、「本部による決定で試合中止」や「試合中選手が熱中症に陥る可能性が高まったのでハーフタイムで中断し、以降は…」等々を審判報告書の「その他の報告事項」欄に記載する。

参考資料(日本サッカー協会より転載)

- フットサル競技規則
- 15歳以下のフットサル競技会における規則
- JFA熱中症対策ガイドライン

- http://www.jfa.jp/documents/pdf/futsal/law_futsal.pdf
- http://www.jfa.jp/documents/pdf/futsal/law_futsal_100329.pdf
- http://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/k20160310_6.pdf